

### ・町内会の解散について

過去10年まで遡ると、平成20年、28年、29年に1町内会ずつ解散届が提出され、3つの町内会が解散しました。

当時の届出における加入戸数は、60戸ほどで、未加入が130戸程度ありました。

現在、町内会の主な役割として、防犯灯の設置と維持管理、ごみ集積所の管理、公園の清掃、子供会や敬老会の運営、広報紙の配布、募金など寄付事業の協力などがあります。

その中でも、防犯灯の設置・管理、ごみ集積所の管理、チビッ子広場の管理に関しては、町内会を解散すると不都合が生じていると伺っています。

町内会の無い地域にお住いの世帯への防犯灯・ごみ集積所はどのようになるのかを伺いました。

また、お住まいの住民にとって、生活上どの世帯も利用するものは、できる範囲で協力していかなくてははいけません。

町内会活動の中でも義務的参加と任意の参加を分けることで、より多くの参加につながり、運営のスリム化と円滑化が図られるのではないかと考えます。

市長連と協議を重ねて、モデル町内会の設置などを検討し

コーディネーターを配置して、現状の改善について協力していくべきと提案しました。



### 帯広市の考え

- ・ごみ集積所については、町内会の協議において、代表者を決め管理していたきながら、解散後も継続して既存の集積所を使用することができます。
- ・防犯灯については、防犯灯の名義を町内会名から地域の個人名または管理する団体名に変更し、従来通り電気代を支払う、この場合は、町内会と同様に補助を受けとることになります。  
防犯灯が必要ないと最終的に判断された場合は撤去の手続きをすることになります。
- ・チビッ子広場については、町内会からの申請に基づき空いている私有地や公有

地に築山整備や遊具等の設置をするに当たって補助し、運営管理についても助成していることから、遊具等を撤去し原状回復していただくこととなります。

- ・高齢化や単身世帯の増加、ライフスタイルの変化等を背景に、町内会の行事や役員会などの参加もできない方々が増えており、町内会によっては、防犯灯の維持管理費やごみ集積所の管理など町内会で行っている最低限の運営にのみ携わってもらう仕組みを設けている町内会もあります。

こうした工夫も含め、活動や役割の見える化も一案と考えております。

- ・町内会の役割と加入について、市内に転入してきた方に対し、町内会は具体的にどういったことを行っているかの周知と加入の案内のチラシを配付しているところです。
- ・災害時や見守りなどには、身近な体制、地縁の持つ力は大きなものと捉えており、様々検討する中で、市町連とも、より一層の連携を図っていきたい。

### 冬季防災訓練について

1月27日に行われた冬期防災訓練に参加しました。

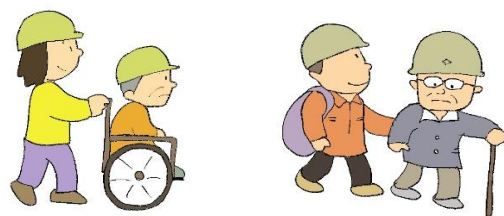
冬季防災訓練の参加状況は、市民の方、関係機関の方、従事した市職員の合計で、毎年200名前後の参加があります。

大きな災害が少ない帯広市ですが、近年の地球温暖化による台風の到来、また、千島海溝での巨大地震の予測など、予断を許さない状況にあります。

さらに、北朝鮮のミサイル発射など、「国民保護計画」にもある有事の際の対応としても日頃の周知・訓練は必要であると考えます。

介護施設・高齢者施設等の防災訓練の状況と、在宅で生活する要介護者の災害時の避難誘導に関する対応と周知について質問しました。

また、視覚・聴覚に障害のある方、ろうの方、車いすでお過ごしの方などへ防災訓練への参加を促し、意見を頂いた上で、対応の参考とすべきと提案しました。



### 帯広市の考え

- ・冬季防災訓練においても、主に地震災害を想定した訓練内容としているが、メニューの中には一部雪害を想定した訓練も取り入れているところである。

- 今後も、地震災害だけでなく、想定しうる災害に対応したメニューを考え、防災訓練を実施していく考えである。
- 介護保険施設等においては、水害・土砂災害を含む非常災害時の計画の策定や避難訓練の実施が義務付けられているが、施設が独自に行っている訓練の実施状況については、実施した内容や施設数は把握していない
- 市が指定している施設等に対しては、保健福祉部で各施設等への事業の現地調査の中で火災や水害・土砂災害、地震等に対処するための計画の策定や避難訓練の実施状況等についても確認・指導等を行ってきている。
- ご指摘のとおり、避難所に避難してくる方の中には障害のある方もおられることから、訓練時から様々な対応を経験しておくことは、大変重要なことと考えている。
- 今後は、多様な対応が求められる避難所運営の参考とするべく、障害のある方の意見もいただくため、様々な団体に協力をお願いするほか、関係部署と連携しながら、多くの市民に訓練に参加していただけるよう呼びかけていきたい。